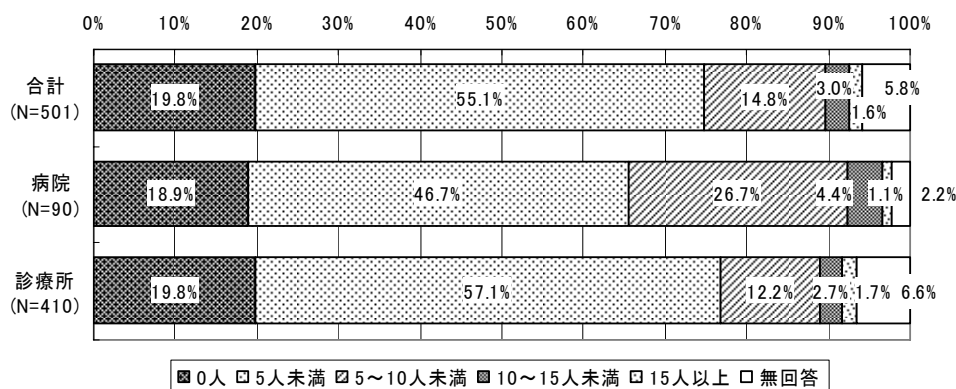


9) 平成 18 年 11 月 (1 ヶ月) におけるニコチン依存症管理料算定患者数

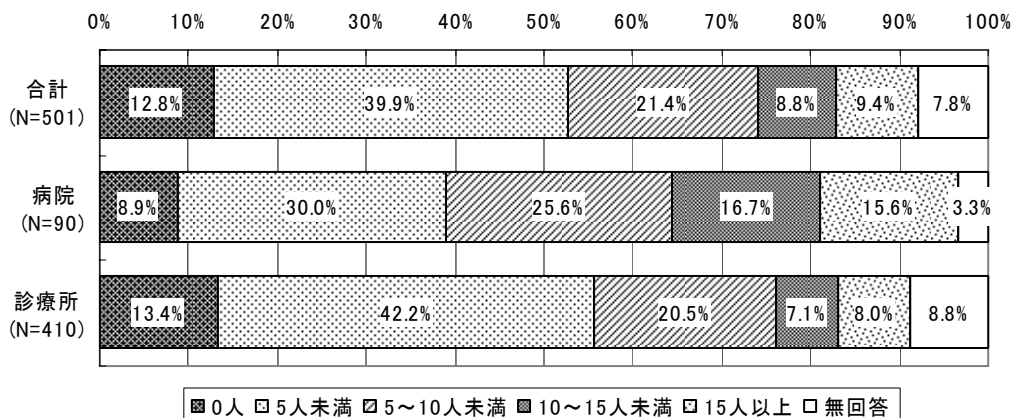
平成 18 年 11 月 (1 ヶ月) におけるニコチン依存症管理料算定患者数 (初回の算定患者数) についてみると、全体では、「5 人未満」(55.1%) が最も多く、次いで「0 人」(19.8%)、「5~10 人未満」(14.8%) であり、平均人数は 2.92 人 (標準偏差 3.26、中央値 2.00) であった。医療機関別に平均人数をみると、病院で 3.48 人 (標準偏差 3.13、中央値 3.00)、診療所で 2.80 人 (標準偏差 3.27、中央値 2.00) であった。

一方、2 回目以降の算定患者数についてみると、全体では、「5 人未満」(39.9%) が最も多く、病院でも「5 人未満」(30.0%)、診療所も「5 人未満」(42.2%) と最も多かった。平均人数は、全体で 5.93 人 (標準偏差 7.42、中央値 6.00)、病院で 8.05 人 (標準偏差 7.68、中央値 6.00)、診療所で 5.45 人 (標準偏差 7.68、中央値 3.00) であった。

図表 17 平成 18 年 11 月 (1 ヶ月) における、ニコチン依存症管理料算定患者数 (初回の算定患者数)



図表 18 平成 18 年 11 月 (1 ヶ月) における、ニコチン依存症管理料算定患者数 (2 回目以降の算定患者数)



* 合計 (N=501) には、施設区分不明 (N=1) を含む。

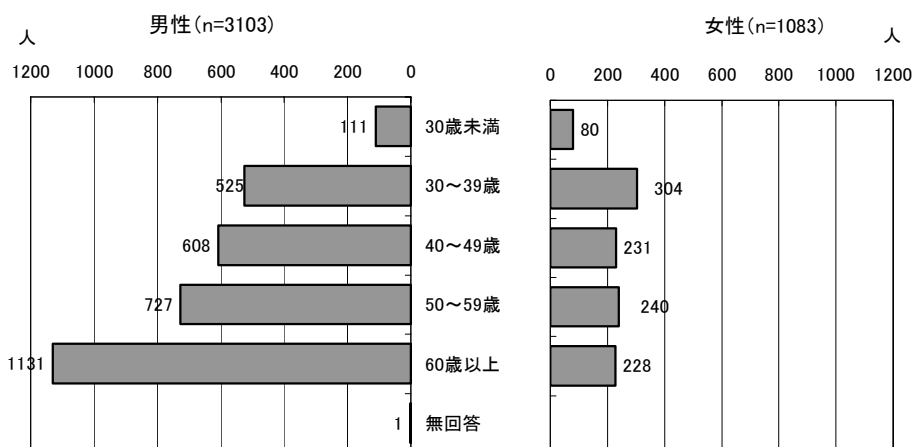
(3) 一次調査：患者の状況

1) 性別および年齢

本調査で分析対象とした患者は、男性 3,103 人、女性 1,083 人、性別不明 3 人で合計 4,189 人であった。

男性においては「60 歳以上」(1,131 人) が最も多く、次いで「50～59 歳」(727 人)、となっており、年齢が高い層が多かった。平均は 53.29 歳 (標準偏差 13.97、中央値 54.00) であった。一方、女性においては「30～39 歳」(304 人) が最も多く、男性と比較して若年層が多い結果となった。平均は 47.45 歳 (標準偏差 13.78、中央値 46.00) であった。

図表 19 性別および年齢



* 性別無回答 (N=3) を除く

2) 喫煙年数

喫煙年数についてみると、「40 年以上」(29.8%) が最も多く、次いで「20～30 年未満」(25.6%) となっていた。平均は 30.35 年 (標準偏差 13.03、中央値 30.00) であった。

図表 20 喫煙年数

